

日々の教育 ～学びあい～

【学習活動】

- 互いに個性を認め合うことができる学習活動を計画します。
- 日々の学習を通して、社会生活の中で生かせる力を育みます。
- キャリア・パスポート**を活用し、学んだことを振り返りながら、新たな学習への意欲につなげたり、将来の自分について考えたりできるようにします。

【見取り・関わり】

- 生活場面や授業中の学びの過程を丁寧に見取ることで、児童生徒の「思い」を大切にしたい支援ができるようにします。
- 児童生徒が、「分かった」「できるようになった」「役に立っている」「期待されている」と実感できるような関わりを積み重ねることで、集団の中で役割を果たすことに前向きな気持ちをもつことができるようにします。

余暇活動 ～分かちあい～

- 在校生・卒業生の保護者による、子どもの自立を助ける「**ふとく親の会**」と協力し、感染症対策を講じたうえで、参加しやすい企画や体制を整え、児童生徒の経験の幅を広げたり、保護者同士が情報交換したりできるようにします。
- 新しい生活様式**に対応した活動内容を教師と保護者が一緒に考えます。

発信 ～伝えあい～

- 保護者会**（各部）等を通して、卒業後の進路に向けた理解啓発に努めます。
- 校内・現場実習報告会**への参加を保護者に呼び掛け、実習や進路への見通しをもつことができるようにします。
- キャリア通信**（全校）を発行し、実習の様子や新規の施設情報、本校におけるキャリア教育や進路学習の取り組み等を発信します。
- 校内掲示板**を整備し、施設情報や進路に関する取り組み等を紹介します。
- 福祉施設情報コーナー**を図書室に整備し、様々な情報を発信します。

連携 ～支えあい～

【大学と】

- 茨城大学と連携して職場体験やキャリア学習を行い、キャリア教育や進路指導の一助とします。

【医療機関と】

- 本人に関わる医療機関と連携し、健康な生活の保持増進に努めます。

【地域と】

- 各市町村福祉課と連携し、本人・保護者をサポートする体制を構築します。
- 相談支援事業所と連携し、福祉サービス利用に向けて本人・保護者をサポートします。
- 企業や障害福祉サービス事業所と連携して職場見学や現場実習を行い、働くことの楽しさや、将来の夢や目標を見出すことができるようにします。
- 附属学校園や近隣施設、学校との交流及び共同学習、夏祭りや作業製品販売会の機会などを通して、地域との交流を図ります。

【保護者と】

- PTA と連携し、進路に関する研修会や卒業生保護者との座談会などを企画し、保護者が卒業後の進路選択や日常生活に向けての知識や助言等を得ることができるようにします。

本校の教育目標である「たの・まな」楽(たの)しくて学(まな)びのある学校での教育活動を通して、一人一人のキャリア発達を促し、能力と特性に応じた進路実現を目指します。

4つのテーマには、すべてサブテーマに「**あい**」が入っています。一方通行の進路指導・進路選択ではなく、教員、保護者、地域社会が相互に関わる中で、互いを高め**あい**、共に進路実現に向けて歩いていきたいという思いが込められています。

